



祝 卒業
同窓会入会記念号

令和4年2月28日
(2022年)

編集・発行
島田高校同窓会

〒427-0038
島田市稲荷 1-7-1 修己館内

～同窓会事務局～
TEL/FAX 0547-21-1145
メールアドレス
kawanami@ab.thn.ne.jp

～学校事務室～
TEL 0547-37-2188
FAX 0547-35-1744

同窓生 23,260 名
74回生 187 名
在校生 346 名

まずは行動してみよう



同窓会長

大久保 節夫

(21回生)

ご卒業おめでとうございます。心より
お喜び申し上げます。心よ

まだ寒い日が続きますが、間もなく
新しい門出に、旅たちに相応しい春が
訪れます。皆さんはその日を心待ちに
して、心躍る気持ちで一杯かと思いま
す。長い人生の三年間という一瞬に、
見違える様に立派に成長されたと思い
ます。勉強、部活動等を通して達成感・
挫折感を味わいながら、自身が学び得
た努力の賜物だと思えます。

さて、一昨年の年初に確認された「コ
ロナウイルス感染症」が、未だに終息

せず、いろんな分野に甚大な影響・被
害を及ぼしている現実を想像した人は
いません。依然として大変な現実を迎
えています。皆さんの高校生活の殆ど
が「コロナと共に」であったかと思
います。その中で、過去にない多くの事
を学び、新しい時代への準備をされま
した。従来の価値観・生活様式・社会
システムが大きく変化しデジタルを中
心とした、生産性の高いグローバルな
時代へ急ピッチで進んで行きます。

「百万の典経、日下の燈」と言われ
る様に、今日一日の実行こそが人生の
全てであります。時間はどんな状況下
に於いても止まっています、日々変
化して行く時代の中で、目標をしっか
り持って、今出来る事をやって行く事
が大切かと思えます。島田高校の校訓
「希望・友情・努力」をこれからの人
生にも大切にして、自分自身の人生を
切り拓き、活躍して行って下さい。
皆さんの今後を楽しみにしています。

川波賞受賞者

○小山 絵里 (31HR)

第66回NHK杯全国放送コンテスト
朗読の部 全国大会出場
(令和元年度)

第44回全国高等学校総合文化祭
放送部門アナウンスの部出場
(令和2年度)

第68回NHK杯全国放送コンテスト
アナウンスの部 全国大会出場
(令和3年度)

第45回全国高等学校総合文化祭
放送部門アナウンスの部出場
(令和3年度)

○見玉 裕己 (36HR)

静岡県高等学校新人弓道大会男子の部 二位
(令和2年度)

川波賞

島高在学三年間に、学業・部活動・
学校教育活動において優れた功績の
あった生徒に対し、その活動を讃え、
卒業時に賞状の授与と記念品を贈呈。

(学校創立90周年を機に創設)



同窓会の活動と主な行事

主な活動は以下の通りですが、新型コロナ
ウイルスの感染拡大状況により、行事の開催
は流動的で、日程は確定しておりません。

定期総会開催

毎年8月に定期総会を開催していま
す。同窓生となった皆さん、ぜひ出席
してください。

「島高同窓生の集い」開催

総会終了後、10年ごとの同窓生一同
が集まります。同窓生なら誰でも大歓迎
ですので、是非ご参加ください。

「六月祭」の参加

各界で活躍する卒業生の紹介や、写
真展など、毎年工夫を凝らして参加し
ています。

同窓会報「川波だより」発行

同窓会活動の報告、恩師や同窓生の
近況、女学校時代の元気な先輩の生
き方、また島田高校の様子など、興味
深い記事が満載です。ホームページで
閲覧できます。

在校生支援

充実した学校生活の
支援のため、部活動奨
励金や奨学金の給付を
行なっています。



74回生の学年委員長さん

- 31HR 松下 健 松下絢香
- 32HR 中川夏依吏 島津之葉
- 33HR 森 伊吹 小山絵里
- 34HR 杉本碧志 川口愛子
- 35HR 大河原 遥 山口こころ
- 36HR 小倉光輝 西村 萇

よろしくお願ひします！



先輩からのメッセージ



同窓生講話 講師
北川 清
(32 回生)

「卒業おめでとう」ございます。多くの方々は住み慣れた島田を離れ、大学や専門学校等へ進学させることになるでしょう。これまでと環境が全く変わることに不安もあると思いますが、それ以上に期待も大きいのではないかと思っています。

2年続いた「コロナ禍は、IoT (internet of things : 物のインターネット) や AI (artificial intelligence : 人工知能) 等の技術革新によって変化しつつある社会構造の変革を加速し、働き方や住まい方の変化を促し、日常生活をも変えつつあります。皆さんはまさに大きな変化の時代にいるのです。大きな変化の中では、だれもが先を見通すことはできません。だからこそ大きなチャンスがあるのです。これまでの常識にとらわれず、広く情報キャッチし、取捨選択して考え、そして行動することを目指してください。きっと新しい世界が見えてくると思います。皆さんのご健闘をお祈りしています。

同窓会理事 渡邊富士雄 (23 回生)

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうでございます。新型コロナウイルスの状況下での高校生活、本当にご苦労様でした。いつの日か貴重な体験として楽しく思い出として語れる日が来ることを願っております。私は23回生、卒業して早50年、今年古希(70歳)を迎えます。そんな私たち23回生がいまだに同期であることをよりどころに、年に1度集い楽しむ活動をご紹介します。

私たちの在学時はフォークソングが大変なブームで音楽好きな学生はバンドを組んで、まさに青春を謳歌したものです。同期にも音楽好きな4人がおりまして、彼らは「ザ・ブトン」というバンドを結成し、勉強そっちのけでフォーク一筋の高校生活を送り、ついにはヤマハの主催するコンテストで優勝し、プロの誘いが来るまでになります。高校卒業でバンドは解散し、彼らはそれぞれの道を歩み、そして40年が経過した10年前、還暦を機にバンドを再結成します。以来、毎年「おおるり」でのコンサートを私たち23回生が支えてきました。70年の人生のわずかに3年、そこでの出会いが私たちに一時、島高生に戻してくれます。どうぞ、3年間の絆を大切に、そして新たな出会いを求めてお励みください。



ザ・ブトン (23 回生)

同窓会理事 南條隆彦 (30 回生)

高校三年の冬、残りわずかとなった高校生活。このまま、なんとなく卒業していくのだと誰もが思っていた。突然、彼が帰ってくるまでは。中学の頃に一度は遠くの街へと引っ越した同級生。季節外れの転校生との再会は、なんとなくで終わろうとしていた彼らの気持ちに……」

「こんにちは。アニメ『Just Because』が、昨年秋クールに再放送されていました。タイトルの意味は、ただ、なんとなく。」

皆さん、卒業おめでとうでございます！30回生の私には、あの頃の記憶は遠い彼方で全く思い出せませんが、Just Because に通じていた感じはします。皆さんの中には明確な志を抱いて目標に向かって邁進している人もいますが、ほとんどの人が「なんとなく」なのは。

私は吹奏楽三昧で、なんとなく音に関わる仕事ができたらいいなあと思っていましたが、気がついていたら、なんとなく地方公務員になり、吹奏楽は退職した今もなんとなく続いています。それは音楽を続ける多くの島高吹奏楽部の仲間がいたから。Just Because、よくわからないけど、ざわつとするその感じと、一生ものの友人たちを大切に人生を歩んでいってください。

アニメの結びは In your market, get set, go! (位置について、よーいどん!)

同窓会校内理事 大橋辰也 (32 回生)

今年の冬は寒い日が続いていますので、地球温暖化のことを忘れてしまっています。しかし、地球温暖化は確実に進んでいるようです。(自分が小学生の頃はもっと寒かったです。近くに見える山は冬になるといつも白かったのに最近ではめったに白くなりません。)

皆さんは「アレタトゥーンベリ」さんを知っていますか？現在19歳の女性の環境活動家です。彼女は、高校生の時から、環境問題に真剣に取り組まない政治家、大人たちを批判し、(前アメリカ大統領のトランプともツイッターでやりあっています)世界の若者たちのリーダー的存在です。彼女は環境問題に取り組まなければ、若い世代の未来が破壊されると訴えているのです。最近の異常気

象は皆さんも実感するのではないですか？台風の大規模化、激しい集中豪雨、夏の酷暑……。グレッタさんのように、目先のことを考えて行動できる人になってください。

同窓会理事 河西智里 (38 回生)

皆さんは、グレートジャーニーという言葉を知っていますか。直訳すれば、「偉大な旅」という意味になるのでしょうか。6万年前にアフリカにいた人類が何万年もかけて、世界各地に拡散していった道のりを、イギリス人の考古学者が「グレートジャーニー」と名づけました。このグレートジャーニーを足かけ十年をかけて南米から南アフリカまで逆向きにたどって旅をしたのが、医師で冒険家の関野吉晴さんです。

関野さんは学生時代、恩師のすぐ役立つものは、すぐ役に立たなくなる。という言葉に感銘を受け、自分が教壇に立った時、学生時代にやっておくということとして、本を読む、友人を作る、恋をする、という言葉を学生に贈ったそうです。恋というより失恋することを勧めていて、失恋は奈落の底に落とされた気分になるけど、必ず反省して真剣に物事を考えるから勉強になると話しています。関野さんの言葉は、失恋も挫折ではなく、大切な経験だと教えてくれます。高校生活をやりきった人、モヤモヤで終わった人、卒業前に抱きかかっていた人、それぞれだと思います。過去はどうあれ、その経験を今後どう活かしていくか、皆さんの真価が問われています。

新たな人生のスタートラインに立つ皆さんへ、読書、友人、恋の三本柱を心にとどめ、自分の好きと向き合い、グレートな旅立ちができるよう、陰ながら応援しています。

